

議事録

1. 件名：防潮堤水理試験(黒津波影響)に関する意見交換会(第1回)
2. 日時：令和4年11月1日(火) 13:15~15:45
3. 場所：原子力規制庁 15階会議室
4. 出席者：原子力規制庁
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門
日比野総括技術研究調査官、石田技術参与、山下技術研究調査官、鳥山技術研究調査官

一般財団法人電力中央研究所
原子力リスク研究センター 自然外部事象研究チーム 研究推進マネージャー 上席研究員
原子力リスク研究センター 自然外部事象研究チーム 主任研究員
5. 要旨：
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、令和3年度から委託事業として、防潮堤水理試験(黒津波影響)事業を実施している。現在までに取得した水理試験の成果を基に、当該テーマに関する技術的な意見交換を電力中央研究所と実施した。規制庁からは令和3年度に実施した水理試験の内容を説明し、電力中央研究所からは、関連WGで実施している類似の研究テーマの実施内容について説明がなされた。
主な内容は下記のとおり。
 - ① ヘドロや黒津波を定義し、それらの発生条件を評価するかは困難な点といえる。また、それを試験条件に落とし込む際にも、その妥当性に注視することが重要である。
 - ② 圧力の計測については、可能な限りばらつきをおさえるために、水温・室温を可能な限り一定に保ち、試験を実施することが重要と言える。
6. その他
特になし